沖縄県立向陽高等学校

令和５年度　SSリテラシー　年間指導計画

教科名	SSH	科目名	SSリテラシー	単位数	1	学科・コース	理数科	学年	１学年	クラス	１年３，４組	校長検印	
必履修の別	必修	系統科目	SS課題探究Ⅰ・SS課題探究Ⅱ				教科書 副教材	特になし				教頭検印	
授業担当者												教頭検印	

目　標	様々な自然現象に触れ、理科の見方・考え方や数学の見方・考え方を組み合わせるなどして働かせ、探究の課程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）SS課題探究Ⅰで探究活動を行うために必要な、理科・数学分野の基本的な知識及び技能を身に付けるよう にする。【知識及び技能】 （２）理科・数学分野において、多角的・複合的に事象を捉え、課題を解決するための基本的な力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 （３）理科・数学分野の様々な事象や課題に知的好奇心を持って向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

◎記録に残す評価

学期	月	単元名	育成を目指す資質・能力 評価規準（達成目標）		学習項目	学習内容	知	思	態	備考（指導上の留意点）	評価方法	時数
1	4	（１）科学的探究活動の基礎	知識 技能	.・科学的探究活動の基礎・基本の定着を図り、基本的な概念や法則などを理解し、基本的な知識を身に付ける。 ・科学的探究に必要な実験操作、実験器具の使用方法を理解する。	・各分野の学習内容や研究内容を知る ・データの処理、表グラフ化 ・実験操作に必要なスキルを身に付ける	オリエンテーション			○	学校設定科目であり、また教科書がないため一斉にオリエンテーションを実施し年計・評価の説明を行う。	・実験に取り組む姿勢、実験で得た結果を基に考察が出来るか。 ・授業態度だけでなくSSリテラシーノートや実験プリントの記入状況を元に授業態度を評価する。	0.5
	5											
	6		思考 判断 表現	.科学的探究活動の基礎・基本の定着を図り、基本的な概念や法則などを理解し、科学的な視点で物事を判断できる。		数学、物理、化学、生物、地学の各分野の探究活動の基礎	◎	◎	◎	各分野の基礎的事項や実験について、専門の教員が授業を行う。		7.5
	7		主体的に学習に取り組む態度	身近な出来事を科学的に科学的な視点でとらえ、探究心をもって学習に取り組むことができる。								

2	8	（2）研究を学ぶ	知識 技能	.・科学的探究活動の基礎・基本の定着を図り、物理・化学・生物・地学各分野の基本的な知識を身に付ける。 ・各分野の探究(研究)に必要な実験操作、実験器具の使用方法を理解している。 ・放射線同位体を用いた年代測定法を理解する。	・科学的に考古学を考える ・地域の海岸植生と地下ダム ・理科４分野の研究方法 ・2年生SS探究Ⅰ(中間発表)への参加・ルーブリック表での評価 ・専門家による特別授業	・ヒトの進化 ・放射性同位体と半減期 ・地層 ・統計の基礎	◎	◎	◎	・開発した独自教材（考古学的素材）を理科・数学で教科横断的に扱う。	・SSリテラシーノートの記載状況や実験用プリントを総合的に評価する。	5
	9											
	10					・地域の海岸植生と地下ダム		◎	◎	・水質サンプリングについても取り扱う。		3
			思考 判断 表現	・物理・化学・生物・地学の各分野の基本的な知識を元にし、適切に物事を捉え、それを判断したり表現できる。		・白い粉の同定実験	◎	◎		・１学期に計画した白い粉の同定実験を行う。		3
	11		主体的に学習に取り組む態度	・科学的探究活動の基礎・基本について主体的に学習に取り組むことができる。 ・専門家の話や教材で取り上げた研究手法を理解し、自らも積極的に研究したいと行動し、研究テーマを考えることができる。		・ＳＳ課題探究Ⅰ中間発表 ・専門家による特別授業		◎	◎	・2年生の研究発表やSSH全国生徒課題研究発表会を視聴し、専門家による特別授業を体験し、研究分野を決めるための情報を与える	・他者の研究について、興味・関心を持って視聴し、質問したりルーブリック表やリテラシーノートに記載している内容で総合的に評価する。	8
	12											
3	1	（3）ＳＳ課題探究Ⅰに向けて	知識 技能	・研究テーマを考えるため必要な先行研究を、インターネットで検索したり、参考文献を探し、必要な研究論文等を調べる方法や技能を身に付ける。	・研究分野の決定 ・研究テーマの決定 ・先行研究の検索、必要な知識、研究手法の理解 ・グループ編成(他者と協調して研究方針を考える)	・専門家による特別授業やSSリテラシーの授業内容、2月の研究発表会を参考に研究分野を決定する。 ・研究に必要な知識（研究手法、研究素材、先行研究の調査：研究(研究の新規性)の判断を行う。	◎		◎	・事前アンケート(研究分野の希望）を集約し、スムーズに班編制が行えるようにする。	・他者と協働して研究分野の決定に関わるか、グループ討議の様子や授業態度、アンケートの提出状況で判断する	2
	2		思考 判断 表現	・研究テーマとして適切か(学校にある研究機材で実現できるか、また研究の意義や､目的が明確か）など生徒同士で議論し、適切な判断を行う。						・向陽SSH生徒研究発表会におけるポスター発表・ステージ発表の視聴、ルーブリック表の記入	・向陽SSH生徒研究発表会におけるポスター発表・ステージ発表の視聴態度や、ルーブッリク表の記入状況を総合的に判断する	3
	3		主体的に学習に取り組む態度	・他者と協働して研究分野の決定に関わることができる。						・研究テーマの妥当性について指導教員を交えた確認が必要	グループ討議の様子や授業態度、SSリテラシーノートで判断する	3
												35

【学習方法のポイント】
授業で取り組むワークシートや課題について、科学的な見方や考え方をもとに取り組みましょう。
【学習サポート】
何か質問があれば、各分野の担当者まで問い合わせてください。